

エンタメ消費者動向の定期サービス『eb-i Xpress』

2019年秋アニメ番組の視聴意向を発表！

～ 第1位は『ちはやふる3』、第2位は「七つの大罪 神々の逆鱗」に～

株式会社Gzブレイン(本社:東京都中央区、代表取締役社長:豊島秀介)は、映画・テレビ・ゲーム・コミック・音楽などエンターテインメントの最新消費者動向を独自のユーザー調査から読み解く、企業向け定期サービス『eb-i Xpress』(イー・ビー・アイ・エクスプレス)を配信しています。

今回『eb-i Xpress』では、全国47都道府県に在住する5～69歳男女を対象とした、2019年10月に放送開始が予定されている秋アニメ番組の視聴意向について、実態調査を行いました。

【2019年放送 秋アニメ番組の視聴意向 総合ランキング TOP20】

※2019年秋に開始する各アニメ番組の中から、“視聴したい”と選択した作品を集計。

順位	番組名
1	ちはやふる3
2	七つの大罪 神々の逆鱗
3	僕のヒーローアカデミア(第4期)
4	PSYCHO-PASS サイコパス 3
5	ソードアート・オンライン アリシゼーション War of Underworld
6	ぼくたちは勉強ができない(第2期)
7	食戟のソーマ 神ノ皿(しんのさら)
8	Fate/Grand Order -絶対魔獣戦線バビロニア-
9	この音とまれ!(第2クール)
10	ガンダムビルドダイバーズ Re:RISE
11	ハイスコアガール II
12	あひるの空
13	アズールレーン THE ANIMATION
13	警視庁 特務部 特殊凶悪犯対策室 第七課 -トクナナ-
15	Fairy gone フェアリーゴーン(第2クール)
16	私、能力は平均値でって言ったよね!
17	超人高校生たちは異世界でも余裕で生き抜くようです!
18	無限の住人-IMMORTAL-
19	歌舞伎町シャーロック
20	GRANBLUE FANTASY The Animation Season2

(単位:人 n=9453 集計期間:2019年8月19日～8月20日/出典:eb-i Xpress)

●2019年秋アニメで最も視聴したい番組は、「ちはやふる3」!

今回の調査で最も視聴意向が高かった秋アニメ番組は、同名の漫画作品を原作とした「ちはやふる3」です。前作から約6年ぶりのテレビアニメ放送となりますが、その間に3本の実写映画を公開、新たなファンも獲得しました。「競技かるた」を題材とした高校生の青春と成長を描くストーリーが共感を呼び、特に10代女性から支持を集め、女性ランキングでもトップとなっています。

一方、男性からの圧倒的な支持を集めて総合第2位にランクインとなったのが、「七つの大罪 神々の逆鱗」です。原作となる漫画作品は累計3000万部を突破する人気作品で、テレビアニメ放送のほか、2018年には初の劇場版も公開。男性ランキング1位という結果になっています。

第3位には、「僕のヒーローアカデミア(第4期)」がランクイン。同名の人気漫画作品を原作とし、特に10代以下の男性から多くの票を集めました。2018年に初の劇場版が公開されましたが、今年12月には早くも劇場版第2弾の公開が決定。ファンの期待も高まる中、さらなる盛り上がりが見込まれます。

そのほかの傾向としては、「ソードアート・オンライン アリシゼーション War of Underworld」(5位)は、特に20~40代男性の票を集めて男性ランキング2位にランクイン。世代別では、人気玩具シリーズ「ゾイド」から生まれたテレビアニメの第2期となる「ゾイドワイルド ZERO」(26位)が、男性を中心とした子ども世代の心をつかみ、TOP20圏外ではありますが、10代未満のランキングで2位となりました。さらに60代のランキングにおいては、“警察のはぐれもの集団”と凶悪犯罪組織の戦いを描くオリジナルテレビアニメ「警視庁 特務部 特殊凶悪犯対策室 第七課 -トクナナ-」(13位)が3位にランクインしました。

【2019年放送 秋アニメ番組の視聴意向 性別ランキング TOP5】

◆2019年放送 秋アニメ番組 男性の視聴意向ランキング

順位	番組名
1	七つの大罪 神々の逆鱗
2	ソードアート・オンライン アリシゼーション War of Underworld
3	僕のヒーローアカデミア(第4期)
4	ちはやふる3
5	PSYCHO-PASS サイコパス 3

(n=5132 集計期間:2019年8月19日~8月20日/出典:eb-i Xpress)

◆2019年放送 秋アニメ番組 女性の視聴意向ランキング

順位	番組名
1	ちはやふる3
2	僕のヒーローアカデミア
3	PSYCHO-PASS サイコパス 3
4	七つの大罪 神々の逆鱗
5	この音とまれ!(第2クール)

(n=4321 集計期間:2019年8月19日~8月20日/出典:eb-i Xpress)



◇ 『eb-i Xpress』 調査概要

国内 20 万人パネルから、全国 47 都道府県の 5～69 歳(※)の男女約 1 万人のモニターを対象に、エンターテインメント分野に関して Web 調査を行う、大規模ユーザーリサーチシステム「eb-i」を元に運用。映画・テレビ・ゲーム・コミック・音楽など各エンターテインメントジャンルについて、「eb-i」から抽出したデータをもとに、一定のセグメント・ユーザー嗜好を組み合わせたクロス集計を実施。(※)14 歳以下は保護者の代理回答となります。

◇ 『eb-i Xpress』 サービスについて

『eb-i Xpress』は、月次レポートと専用サイトのアクセス権を基本パッケージとしたサービスになります。月次レポートはエンターテインメント各ジャンルの接触ランキング、各種分析、時流に応じたテーマをデータで切り取る特集記事などから構成されます。専用サイトでは、随時更新される集計データと過去のアーカイブを閲覧することができます。

URL: <http://www.f-ism.net/>

◆株式会社Gzブレイン(ジーズブレイン)について

株式会社Gzブレイン(代表取締役社長:豊島秀介)は、株式会社KADOKAWAの100%子会社です。

『ファミ通』『B's-LOG』ブランドをはじめとする情報誌の出版、Webメディアの運営といったゲームメディア事業を展開。さらに、プロゲーマーチームのマネジメントや、ゲームイベントの企画・プロデュースを中心としたeスポーツ事業など、あらゆる角度からゲームの面白さを伝える事業に取り組んでいます。

公式サイト URL: <http://gzbrain.jp>



※株式会社Gzブレインは、10月1日より「株式会社KADOKAWA Game Linkage」に社名変更いたします。